

令和2年度 日本学生支援機構【大学院博士課程(博士前期課程を除く)】第一種奨学金 「特に優れた業績による返還免除」の申請について(案内)

大学院博士課程(博士前期課程を除く)で「第一種奨学金」の貸与を受け、その貸与期間中に挙げた専攻分野に関する業績について、日本学生支援機構から「特に優れた業績を挙げた」と認定をされると、奨学金の全額または半額の返還が免除される制度です。貸与の終了年度に在籍していた課程において挙げた業績により申請をします。

令和2年4月～令和3年3月の期間内に奨学金の貸与が終了(辞退・退学による終了も含む)する人のうち、『貸与終了手続き書類』を提出期限までに大学に不備なく提出した人のみが申請できます。

本人からの申請に基づき、三重大学「学内選考委員会」において推薦候補者を選考し、日本学生支援機構に推薦します。申請を希望する人は、本案内および申請用紙に記載の【記入上の注意】をよく読み、受付期間内にチェックシートを含め、必要書類を不備なく揃えて提出してください。

また、コロナウィルス感染症の影響による研究計画の遅延等のため、貸与期間中に業績を挙げることでできず課程修了が延期となる場合は、特例として本人の申請により貸与期間を延長し(延長期間中は休止となり奨学金の貸与はありません。)、貸与終了月を1年間を限度に先送りすることにより、令和3年度の免除申請が可能となります。ただし、課程を修了した場合並びにコロナ以外の事情による研究遅延は、特例の「対象外」なので免除申請の機会は今年度のみとなります。

特例に該当し、免除申請期間の延長を希望する方は、2月19日までに学生支援チーム奨学金担当へご相談ください。

記

1、申請受付

- (受付期間) 令和3年2月1日(月)～2月19日(金) **期限厳守**
9:00～17:00 (土・日・祝日を除く)
- (受付場所) 学務部学生支援チーム ①番窓口 (総合研究棟Ⅱ 1階)
059-231-9061
※提出時に、学生証と朱肉を使って押す印鑑を持参してください。
- (面談日程) 令和3年3月15日(月)8:30～10:00 ※書類審査通過者のみ
- (面談会場) 書類選考通過者にのみ後日ご連絡します。

(提出書類: 下記の4点(工学研究科は5点) 2月19日締切)

- ①. 業績優秀者返還免除申請書(様式1-1)
- ②. 業績一覧表(様式1-2 表と裏) (両面印刷で1枚)
- ③. 業績を証明する資料 **2セット**
- ④. チェックシート(1枚)
- ⑤. <工学研究科のみ>業績評価項目対応表

(面談準備書類: 下記の1点 3月8日締切)

- ⑥. これまでの研究業績について説明するための資料(A4で2枚以内、電子データで提出)
※提出先: menjyosyogaku@ab.mie-u.ac.jp

2、資料作成要領

①業績優秀者返還免除申請書（様式 1-1）

- ◇ パソコンで作成することができますが、**本人氏名は【自署】が必要です。**
- ◇ 「現住所」欄は大学に届け出ている住所（いま住んでいる住所）を、都道府県名から記入する。
- ◇ 「大学院における研究課題等」欄への記入内容が、あなたの〔専攻分野〕を表します。どれほど優秀な業績でも、〔専攻分野〕と関連のない業績は評価対象となりません。

②業績一覧表（様式 1-2 表と裏）

- ◇ パソコンで作成することができますが、**氏名は【自署】で記入してください。**
- ◇ 《記入方法》の例を見ながら、各評価項目の業績について、必要な項目（※）を記入し、その証明資料の**資料番号**を通し番号で記入します。
（※例）【研究論文】の場合：①著者名（本人及び共著者名）②論文名③学術雑誌名（該当頁）④発行日⑤その他「掲載決定（予定）」等
- ◇ 「1. 学位論文その他の研究論文」の【学位論文】の欄は、業績評価基準で学位論文を評価対象としていない（評価点数のない）研究科については、記入できません。間違いが多いので、注意してください。

③業績を証明する資料**2**セット

- ◇ 様式 1-2 「業績一覧表」にあげた業績には、すべて「証明資料」が必要です。
- ◇ 証明資料の1ページ目【**右上**角】に「業績一覧表」欄で記入した**資料番号**を付け、業績と証明資料の関連を明確にしてください。
- ◇ 「証明資料」は、その業績を『**誰が・いつ（年月日）・どこで（何で）**』挙げたかを証明できないといけません。業績一覧表に記入した各項目（全著者名・論文名・学術雑誌名（学会名）・発行日（発表日）等）を証明できる一連の書類を揃えてください。（※手持ちの論文に日付が掲載されていない場合、メールなど受理日・掲載予定日等が証明できるものを添付してください。）
- ◇ 著書・論文や賞状等は原本ではなく、「**コピー**」で提出してください。指導教員や研究科の発行する証明書、および学外の団体等に発行してもらった証明書は「**原本**」を提出してください。
- ◇ 論文は、**論文全体の写し**でなく、申請者名（著者名）・論文タイトル・学術雑誌名及び発行日等が分かる部分の写し等と**論文内容の概要**（1、2枚程度。アブストラクトがある場合はその部分で可。）を提出してください。また、概要であることがわかるよう、見出しをつけるか、概要部分をマーカーで囲ってください。
- ◇ 論文や研究発表の証明資料は、自分の氏名等の掲載部分にラインマーカー等で下線を引き、わかりやすいようにしてください。
- ◇ コピーをするときは、業績ごとに「A4サイズ」で【**両面コピー**】してください。原稿サイズが大きく、縮小すると判読が困難となるものは、原寸で片面コピーとし、見やすい方法でA4サイズ（左綴じ）に折ってください。
- ◇ 免除申請書は**A4縦**で**左上**を止めて機構へ提出します。資料の向きや、資料番号の位置（＝右上）を整え、印象の良い資料を用意してください。
- ◇ 書類は**クリップ**（ゼムクリップ、ダブルクリップ）で止めてください。ホッチキスは無効です。（詳しくはチェックシートの図を見てください。）

④チェックシート 自己チェックを行い、レ点を付けてください。

⑤面談準備書類 A4用紙2枚以内であれば、形式は自由です。（面談は5分程度の予定です。）

3、申請上の注意点

- (1) 業績評価基準や証明書類等について不明な場合は、所属する研究科の学務事務室へ問い合わせてください。（学生支援チーム奨学金担当は書類を受け取った後、各研究科に書類一式を送付します。審査・選考は各研究科にて行います。）
- (2) 学会参加等によりやむを得ず受付期間内に申請ができない場合は、事前に奨学金担当に相談してください。事前に相談がない場合は、いかなる理由があっても受付期間後の受付は一切できません。
- (3) 卒業後に「現住所」が変更となった場合は、『返還のてびき』の23ページを参照のうえ、スカラネットパーソナルから令和3年5月末までに機構に住所変更を届け出てください。
- (4) 返還免除の認定結果が判明する7月下旬までに、申請者または連帯保証人等から全額又は一部繰上返還を行わないよう注意してください。繰上返還をした場合、免除決定が取り消される場合があります。

4、審査の結果連絡

機構へ推薦できなかった場合

令和2年6月初旬頃に学内選考の結果通知を、チェックシートに記入した「卒業後の連絡先」宛に大学から郵送します。

三重大学から機構へ推薦した場合

大学からは、学内選考の結果は通知しません。

令和2年7月下旬に、日本学生支援機構よりへ審査結果通知が郵送されます。

5、推薦予定人数

| | | |
|------------|------------------|----|
| 医博士・博士後期課程 | H29(2017)年度以前入学者 | 1名 |
| | H30(2018)年度以後入学者 | 1名 |

〈参考〉対象者数
D 4人